

topics

## プラム収穫見定める

01



生産者と今年度の生育状況を振り返った

7月10日、各地区のプラム出荷者の園地にて、収穫するタイミングを伝える為、当JA販売課職員が収穫指導を行った。赤くなったプラムは消費地では傷んでしまい売り物にならない為、地色が抜けて着色が始まる前に行つ必要がある。果実全体の地色を見ながら等の具体的なポイントを伝えながら適期収穫をお願いしていた。

topics

## 55周年創刊号贈呈

02



お礼の言葉を述べる6年の成田優菜さん

毎年恒例の「ちゃべりん」贈呈式が7月11日、相馬小学校にて行われた。「ちゃべりん」は2年生以上を対象に渡されているが、今年の贈呈式は全校集会内にて行われ児童に花田敏幸理事金融共済部長から手渡された。代表を務めた6年の成田優菜さんは、「ちゃべりんを読んでもたくさん勉強したい」とお礼の言葉を述べていた。

topics

## 学生パワーで盛り上がる

03



汗を流し宵宮を盛り上げる大学生

相馬管内各地区が宵宮で盛り上がる中、7月12日に紙漕沢公民館にて、紙漕沢地区の宵宮が行われた。今回、授業の一環として相馬地区に訪れている弘前大学の人文社会科学部の学生40人が出店のサポートをして祭を盛り上げた。かき氷を担当した学生は「おかわり自由なため削る作業で大変だが、子供たちが喜んでくれるから頑張ることが出来た」とやりがいを感じていた。

topics

## 田面ライダー参上

04



バイクのように乗り作業ができる

7月22日、湯口地区の水田にて田面に溝を入れる作業を行った。この作業は、中干しをする際の水切りを良くするために行い、水口等の低くて水が切れない所に溝を入れることで水はけをよくすることが出来る。稲刈り作業を円滑に行つためにも地固めは重要であるため、この機械による秋の水はけの違いを探りながら実用性を検証していく。

topics  
湯口SSS生誕10周年  
05



一等目指して抽選箱から引き出す利用者

湯口SSSがセルフスタンドにリニューアルして10周年を迎えた。日頃の感謝を込めて「あなたに当たってキャンペーン」を7月20日から開催した。2500円以上の給油をしたお客様を対象にスクラッチを削ることができ、ハズレ賞でも12月まで使える2円引き券がもらえるなど、満足できる内容となった。湯口SSSの須藤所長は「これからも沢山のお客様に利用して頂くためにも様々なサービスを展開していきたい」と意気込んでいた。

topics  
薬剤防除の知識を深める  
06



散布経路の見直しを進める白川真美子主査

7月23日、水木在家地区において共防連夏期研修会が開催された。研修会には中南地域農業普及振興室の白川真美子主査が、黒星病の発生状況や散布ムラを無くする為の散布方法、農作業事故についてなどの情報提供が行われた。その後、農業メーカー14社から農薬の説明も行われ、今後使用する剤を中心に注意点を確認していた。

topics  
第三回散布ムラ試験  
07



問題点の箇所はしっかり解決された

先月号の「散布ムラのない散布方法」で、改善が必要とされた駐車場からの補助散布の必要性についての試験が7月25日に行われ、改善に繋がることを確認した。今回をもって今年度の黒星病に対する散布ムラのない散布方法として、往復散布や補助散布の有効性を実証することが出来た。これからの散布方法に是非役立てて頂きたい。

topics  
安心して農作業を  
08



しっかりと連携の取れた作業

クマやサルなどの目撃情報が多い中、大助地区にて7月24日～27日まで電気柵の設置作業が行われた。弘前市鳥獣被害防止対策協議会は初日となる24日に電気柵の設置の説明会を行い、その後作業者は聞いたことを思い出しながら手分けして取り組んでいた。相馬管内では獣の目撃情報も多量に、電気柵が設置されたことにより「これで安心して農作業が出来る」と安心した様子をみせていた。